



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 下地の清掃

砂・塵埃などを除去してください。水勾配は1/100以上必要です。

2. 裁断とけがき

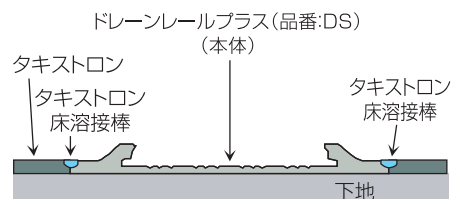
ドレーンレールプラス(品番:DS)を取り付ける位置に、ドレーンレールプラス(品番:DS)本体の幅寸法(約76mm)で下地に鉛筆などでけがいてください。次に、シートとドレーンレールプラス(品番:DS)本体を荒切りし、仮敷きしてください。

3. 接着剤の塗布と張り付け

下地に接着剤を塗布し、適切なオープンタイムを取った後、ドレーンレールプラス(品番:DS)本体とシートを張り付け、溝部分まで十分に圧着してください。

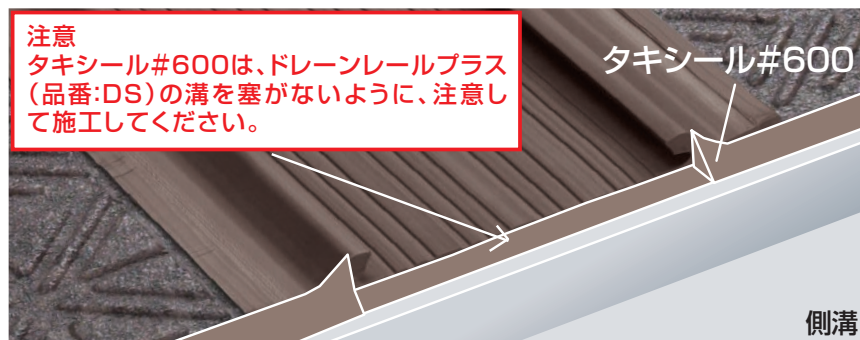
4. 継目処理

ドレーンレールプラス(品番:DS)本体とシートの継目はU字型に溝をカットし、タキストロン床溶接棒を用いて熱風溶接処理を行ってください。



5. 端部処理

シートの端部をマスキングテープで養生し、タキシール#600で端部処理をした後、マスキングテープを取り除いてください。排水溝側にシールする際には、ドレーンレールプラス(品番:DS)本体の溝部分を塞がないように注意してください。(シールにより水の流れを妨げる場合があります。)



6. カバーの切断

ドレーンレールプラス(品番:DS)のカバーを適切な長さに切断し、取り付けてください。(排水ホース側を空ける)

※排水ホース側には、DSホルダーの取り付け代を考慮する必要があります。

※タキシール#600がドレーンレールプラス(品番:DS)の溝を塞いでいる場合、タキシール#600へ掛からない長さにカバーを切断してください。カバーが掛かった状態では、カバーが浮き上がるなどの不具合の原因となります。

7. カバーの取り付け

片方を先にはめ込み、製品を丸めるように軽く曲げ、もう片方をはめ込んでください。手のひらで上から押さえ、浮きがないことを確認してください。



カバーは着脱を行いやすくするため、柔軟な配合設計となっており、温度の上昇や時間の経過により縮む場合があります。その場合は、DSホルダーとカバーとの間に隙間ができないようバーをスライドしはめこんでください。

